

# **Security Application Program – LOCK User Manual**

V2.24–T05

# 目次

A.	始めに.....	2
B.	機能概要.....	2
C.	準備.....	3
D.	ソフトウェアの使用方法.....	4
	D1.   ソフトウェアの起動.....	4
	D2.   パスワード設定 / パスワード変更.....	6
	D3.   パスワード削除.....	8
	D4.   ログイン.....	10
E.	バージョン情報.....	18
F.	対応機器が未接続の場合.....	18
G.	よくあるご質問.....	19

## A. 始めに

- 対応していない製品に対して、本ソフトウェア(以下「Flash Lock」)を使用しないでください。
- Flash Lock を使用する際は、コンピュータに複数の USB Flash Drive を接続しないでください。誤動作の恐れがあります。
- Windows 2000 でご使用の場合は Service Pack 3 (SP3) または Service Pack 4 (SP4) にアップデートが必要です。
- Flash Lock は Windows にのみ対応しています。

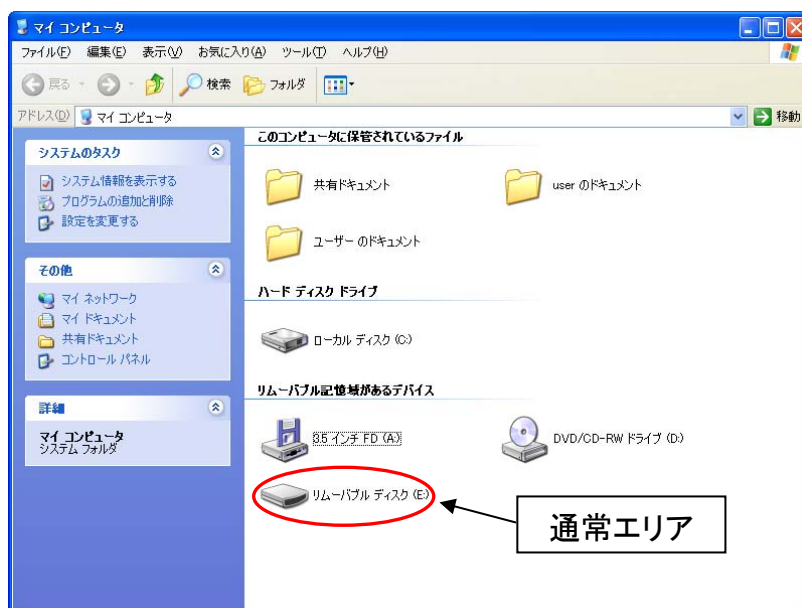
## B. 機能概要

- (1) パスワード設定 - 半角英数文字で 1 文字から 16 文字以内で設定します。
- (2) パスワード再入力制限 - セキュリティ保護のため、パスワードの入力は 6 回に制限されています。誤ったパスワードを 6 回入力すると、USB Flash Drive は初期化され、すべてのデータは消去されます。
- (3) パスワードヒント - 半角英数文字 32 文字(全角の場合 16 文字)以内で設定が可能です。パスワードヒントは無条件で表示可能ですので、第三者に容易にパスワードが類推されるヒントは設定されないことを推奨します。

## C. 準備

初めて USB をコンピュータの USB ポートに接続すると、自動的に認識されて、「マイコンピュータ」(Windows Vista では「コンピュータ」)の中に「リムーバブルディスク」アイコンとして表示されます。

「リムーバブルディスク」を開くと、通常エリアが表示されます。通常エリア内にパスワードセキュリティソフトウェア (Flash Lock) が保存されています。



### セキュリティエリア

パスワードで保護されたセキュリティエリアで、正しいパスワードが入力されるまで、使用することはできません。

パスワードが未設定の場合は、セキュリティエリアを使用することはできません。

### 通常エリア

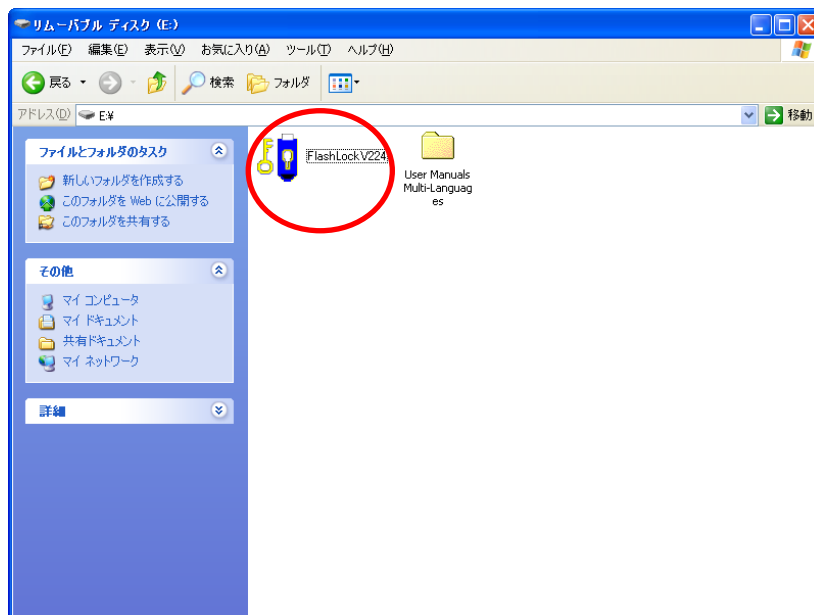
一般のリムーバブルディスクと同様、無条件にデータやファイルを書き込んだり読み出したりすることができるエリアです。

セキュリティエリアと切り換えて使用するため、セキュリティエリアの使用中は、通常エリアを使用することはできません。

## D. ソフトウェアの使用法

### D1. ソフトウェアの起動

「リムーバブルディスク」アイコンを開き「Flash Lock」のアイコンをダブルクリックします。(V 以降の数字はソフトウェアのバージョンを表します。ソフトウェアのアップデートにより、保存されているソフトウェアの数字が変更されることがあります)



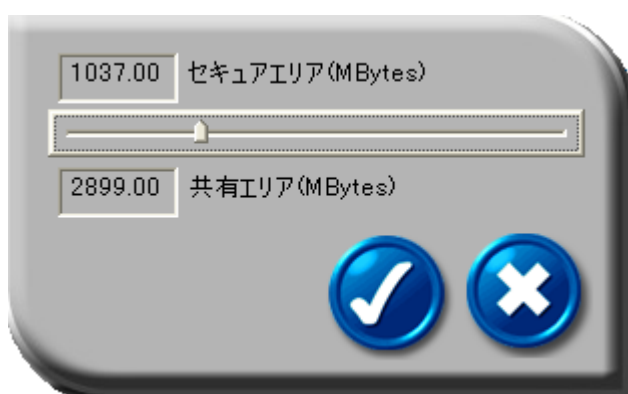
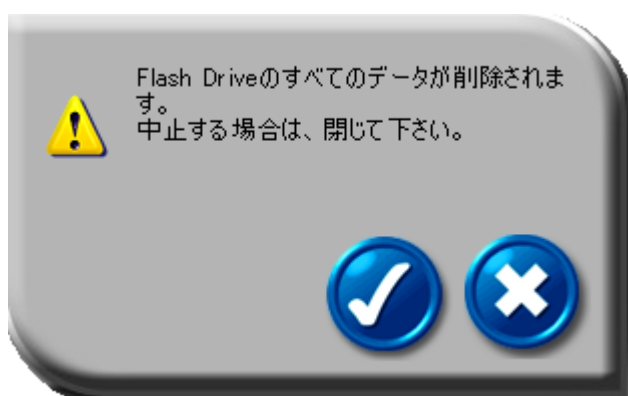
## 起動画面



パーティションとパスワードの設定が完了するまでは、「パスワード削除」および「ログイン」ボタンは有効にはなりません。

初めて使用する際は、パーティションの設定を先に行ってください。(最初にパスワードを設定することも可能ですが、パーティションの設定を行う際には改めてパスワードを削除する必要があります)





パーティション設定直後は、パスワード設定前であっても USB フラッシュメモリをコンピュータから取り外すまではセキュリティエリアを使用することができます。

## D2. パスワード設定 / パスワード変更



パスワードの新規設定または、パスワードを変更するためには右上のボタンをクリックします。

**パスワード設定:** パスワードが未設定の場合は、「新しいパスワード」と「再入力」に半角英数文字で 16 文字以内のパスワードを入力します。  
またパスワードヒントを半角英数で 32 文字以内(全角で 16 文字以内)設定することができます。

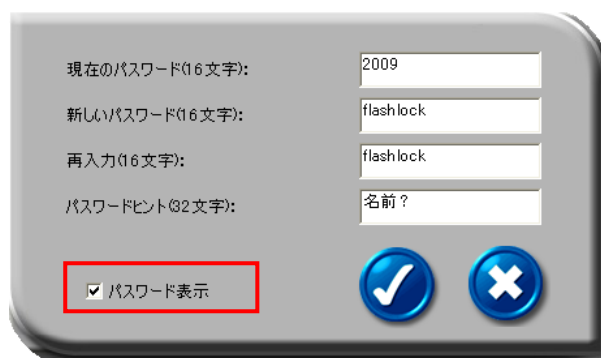
**注: パスワードは半角英数文字を使用してください。**

「パスワード表示」にチェックを入れると、入力中のパスワードを確認することができます。

**パスワード変更:** 「現在のパスワード」を正しく入力し、「新しいパスワード」と「再入力」に半角英数文字で 16 文字以内のパスワードを入力します。  
またパスワードヒントを半角英数で 32 文字以内(全角で 16 文字以内)設定することができます。

「パスワード表示」にチェックを入れると、入力中のパスワードを確認することができます。





現在のパスワード(16文字): 2009


新しいパスワード(16文字): flashlock

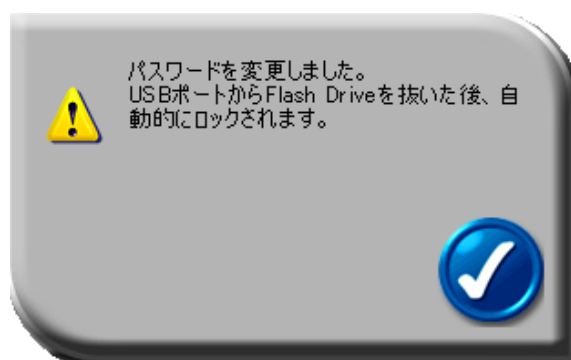
再入力(16文字): flashlock


パスワードヒント(32文字): 名前?

☒ パスワード表示

Buttons: Confirm (checkmark), Cancel (X)


入力が完了したら  (設定)をクリックしてパスワードとヒントを保存します。次のメッセージが表示され、パスワードの変更が完了します。



現在のパスワードとヒントの設定を変更しない場合は、 (キャンセル)をクリックして操作を中断してください。

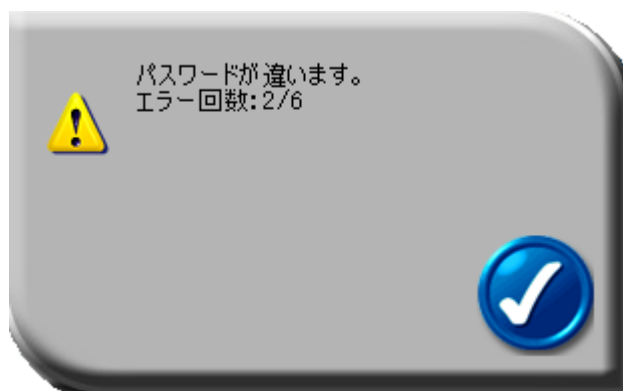
### D3. パスワード削除



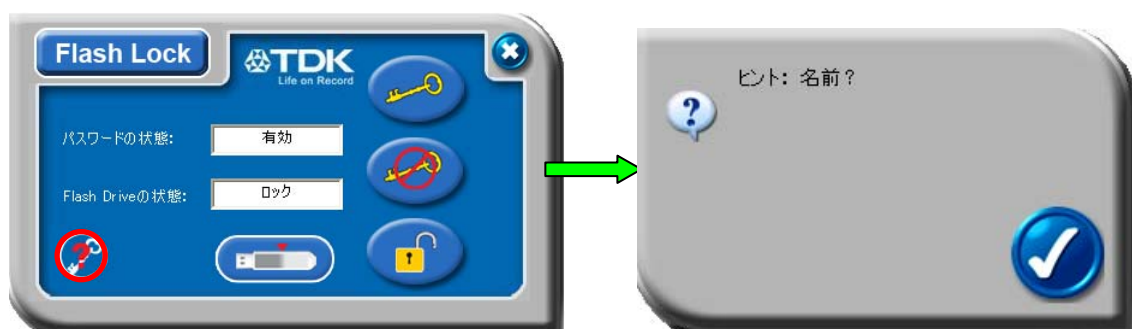
パスワードを削除するためには、右中央のボタンをクリックします。  
削除するためには正しいパスワードの入力が必要です。パスワードおよびヒント  
を削除しない場合は  (キャンセル) をクリックして操作を中断します。



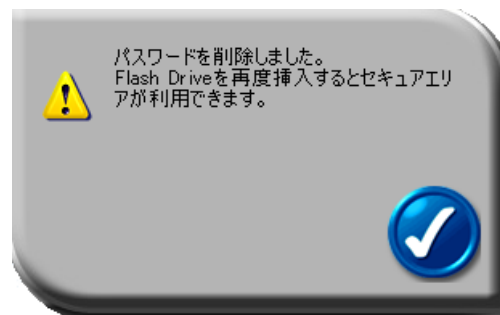
パスワードの再入力 は 6 回まで可能です。誤ったパスワードを 6 回入力すると、  
セキュリティエリアは初期化されます。



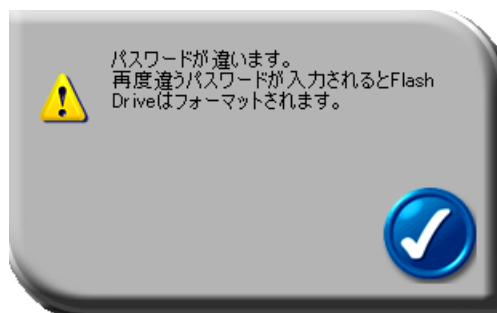
「パスワードヒント」をクリックするとヒントが表示されます。



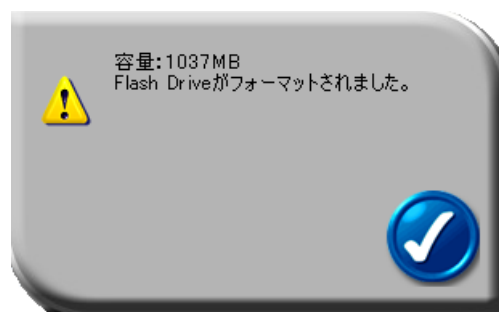
正しいパスワードを入力すると、パスワード設定が削除されます。



誤ったパスワードを 5 回入力すると以下のメッセージが表示されます。



6 回連続して誤ったパスワードを入力すると、USB Flash Drive は自動的にフォーマットされ、セキュリティエリアのデータはすべて消去されます。セキュリティエリアの容量は、再フォーマット完了後表示されます。(セキュリティエリアの容量は「サイズ設定」で変更することが可能です)




#### D4. ログイン

パスワード設定後に USB Flash Drive をコンピュータから取り外すか、電源の供給が停止すると、セキュリティエリアは自動的にロック(保護)され、セキュリティエリア内のデータを読み出したり、セキュリティエリア内にデータを書き込むことはできなくなります。

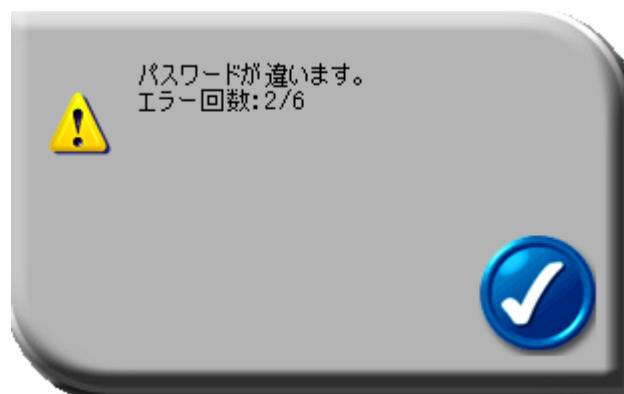
セキュリティエリアを使用する(「ログイン」を行う)ためには、右下のボタンをクリックします。



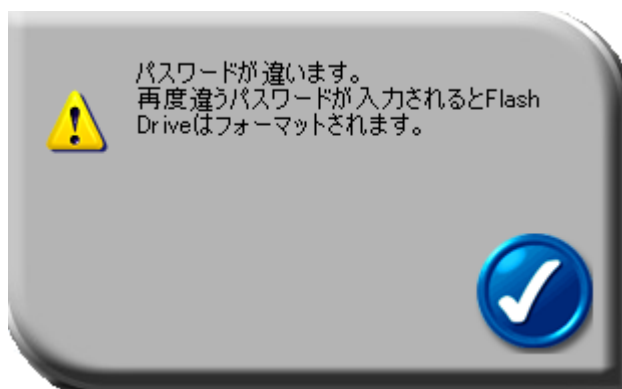
ログインするためには正しいパスワードの入力が必要です。ログインを行わない場合は  (キャンセル) をクリックして操作を中断します。



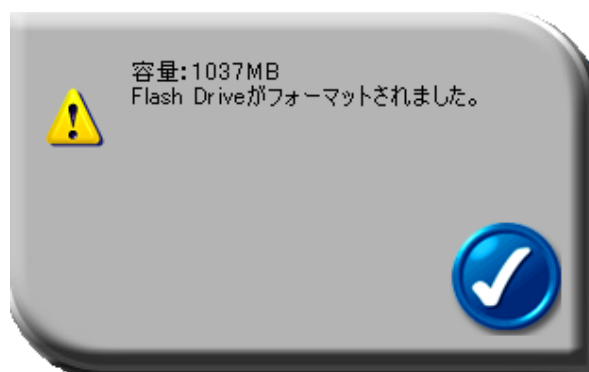
パスワードの入力は6回まで可能です。誤ったパスワードを6回入力すると、セキュリティエリアは初期化されます。



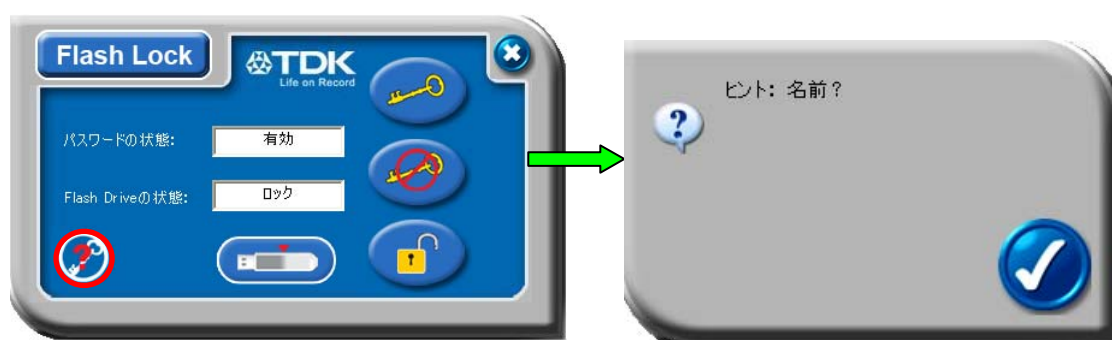
誤ったパスワードを5回入力すると以下のメッセージが表示されます。



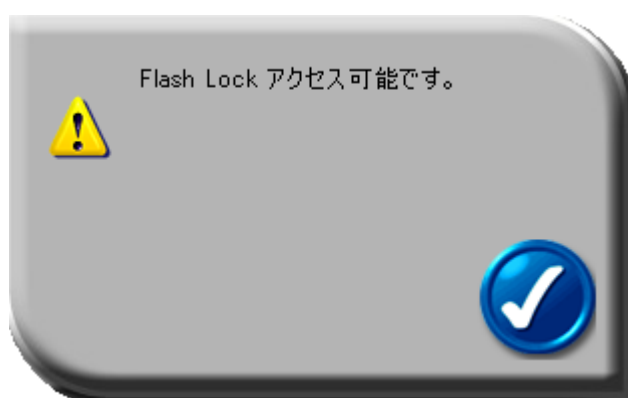
6回連続して誤ったパスワードを入力すると、USB Flash Drive は自動的にフォーマットされ、セキュリティエリアのデータはすべて消去されます。セキュリティエリアの容量は、再フォーマット完了後表示されます。(セキュリティエリアの容量は「サイズ設定」で変更することが可能です)



「パスワードヒント」をクリックするとヒントが表示されます。

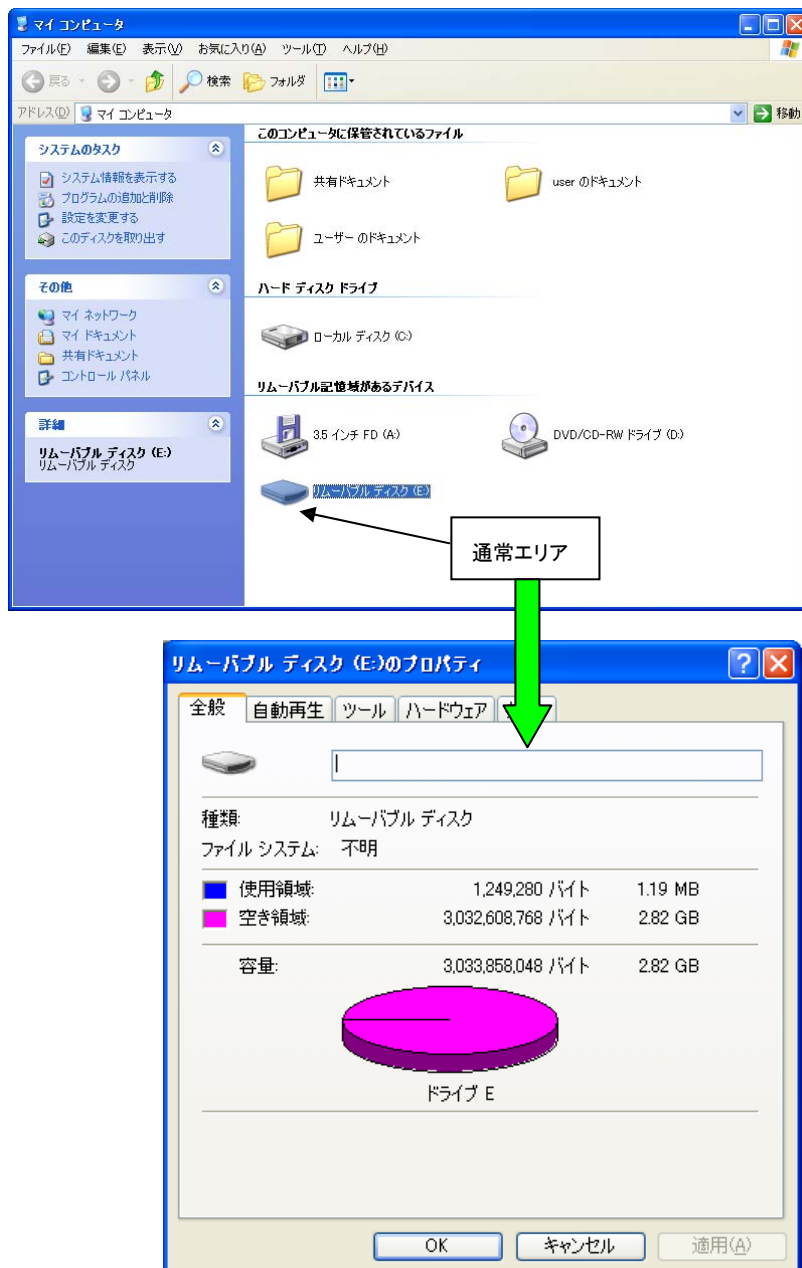


正しいパスワードを入力すると、セキュリティエリアにデータやファイルを書き込んだり読み出したりすることができます。USB Flash Drive をコンピュータから取り外すか、電源の供給が停止すると、セキュリティエリアは自動的にロック（保護）されます。



## D5. サイズ設定

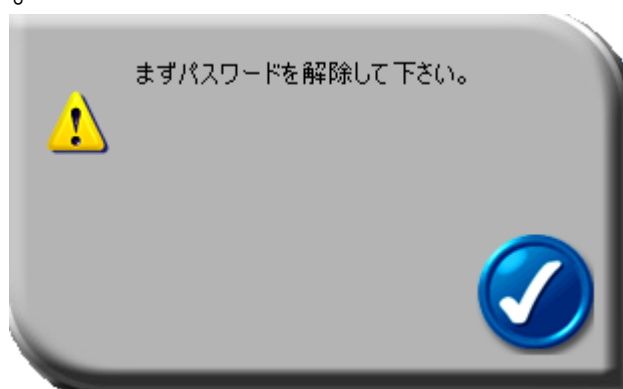
通常エリアとセキュリティエリアのサイズは任意に変更することができます。





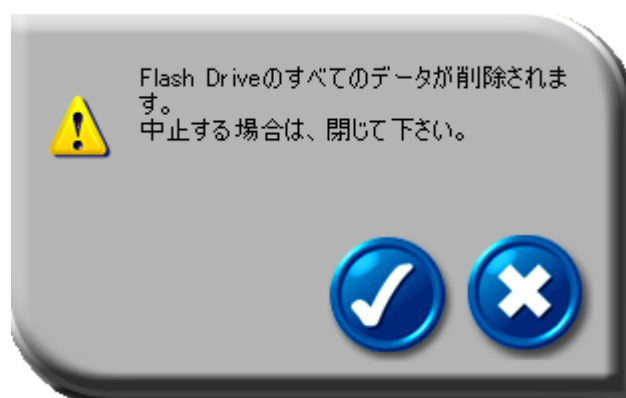
通常エリアとセキュリティエリアのサイズを変更するためには、中央下のボタンをクリックします。



すでにパスワードが設定されている場合は、サイズ変更を行う前にパスワードを削除する必要があります。「D.3 パスワード削除」を参照の上、パスワードを削除してください。





サイズ変更を行うと、USB Flash Drive 内のすべてのデータは消去されます。次の警告が表示されますので、必要なデータを退避(バックアップ)されていない場合は、 (キャンセル)をクリックして操作を中断してください。すべてのデータを破棄してサイズ変更を行う場合は  (設定)をクリックします。





中央のスライドつまみを左右にドラッグして通常エリアとセキュリティエリアのサイズを設定します。(セキュリティエリアは 2MB 以下に設定することはできません)



サイズ変更を行わない場合は  (キャンセル) をクリックして操作を中断します。継続する場合は  (設定) をクリックします。

フォーマットが行われるので、完了の表示が現れるまでお待ちください。



サイズ変更後は、USB Flash Drive を一度コンピュータから取り外し、再度接続しなおす必要があります。

リムーバブルディスクの「プロパティ」を開くと、変更されたサイズを確認することができます。

### サイズ変更前



### サイズ変更後

**注：** サイズ変更(フォーマット)を行うと、USB Flash Drive 内のすべてのデータは消去されますが、「Flash Lock」プログラムは自動的に通常エリアに再保存されます。

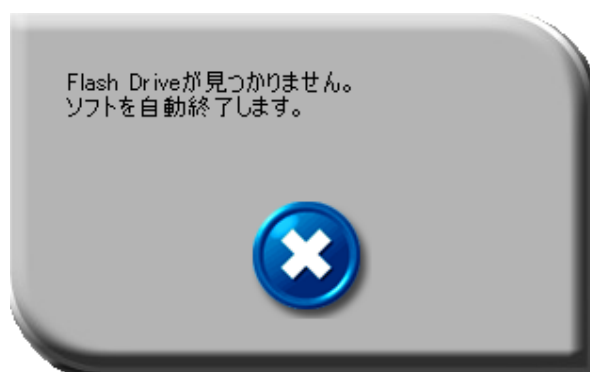
## E. バージョン情報

左上の「Flash Lock」をクリックするとバージョン情報が表示されます。



## F. 対応機器が未接続の場合

「Flash Lock」が対応している機器が未接続の状態で Flash Lock を起動すると次のメッセージが表示されます。



正しい製品が接続されているか、また製品がコンピュータ上で正しく認識されているか確認してください。

## G. よくあるご質問

**Q1** Windows 2000 で USB Flash Drive が認識されない

**A1** Windows 2000 では SP3 (Service Pack 3) 以降に対応しています。

**Q2** Flash Lock を起動すると「Flash Drive が見つかりません」と表示され操作できない。

**A2** Flash Lock は管理者権限でログインしたコンピュータ上でないと動作しません。